

## 令和7（2025）年度第2回柏崎市スポーツ推進審議会

1 日 時 令和8（2026）年2月25日（水） 午後3時00分～午後4時00分

2 会 場 県立柏崎アクアパーク\_ミーティング室

3 出席者 【委員】

石井卓委員、川尻優委員、佐藤幸治委員、重野典子委員、西沢彰委員、  
月橋直子委員、後藤由香理委員、岡村宜城委員、小山真樹委員、  
木村重成委員、飯塚政洋委員（欠席）上島慶委員、須藤泰司委員

【事務局】

スポーツ振興課 藤巻課長、秦野係長、佐藤主査

4 会議概要

(1) 開会

藤巻スポーツ振興課長 あいさつ

本日は公私ともにお忙しいところ、お集まり頂き感謝する。

ただいまから、令和7（2025）年度第2回柏崎市スポーツ推進審議会を開会する。

さて、スポーツの話題と言えば、2月6日から22日まで、冬季オリンピックがイタリア・ミラノ・コルティナで開催され、アスリートたちが熱戦を繰り広げ、スポーツで、日本が、いや世界が盛り上がった。

特にフィギュアスケート女子の新潟市出身の中井亜美選手が銅メダルを獲得し、日本史上最年少メダリストとなるなど、新潟県ゆかりの選手も目覚ましい活躍を見せた。

そして、今年の9月には、アジア競技大会が32年ぶりに日本で、愛知県名古屋市を中心に開催される。水球のまち柏崎から日本代表チームに、多くの選手が選出されるよう、引き続き支援するとともに、市民の誇りや愛着につながる取組を進める。

また、「水球のまち柏崎」として、国際交流機会のつながりを更に深めるため、アジア競技大会出場国の事前キャンプを誘致し、アジア諸国での知名度向上に努める。交流試合も開催予定のため、委員も是非、アクアパークにお越し頂きたい。

さて、本日は、次第のと通りの議題となっている。限られた時間の中ではあるが、皆様の幅広い見識から忌憚のない意見を頂きたい。

よろしく願いたい。

(2) 議事

① 子どもたちのスポーツランドデザイン（最終案）について

資料に基づき、事務局から説明。

委員 中学生の項目について、「こども」と「生徒」の表現が混在している。「生徒」の表現に統一したらどうか。

事務局 修正する。

委員 スポーツを通じた人格形成・共生社会の実現も重要な取組である。こどもたちのめざす姿に「スポーツを軸とした共生社会の実現」を加えたらどうか。

事務局 委員のおっしゃる通りスポーツ庁でも進めている部分であり、グランドデザインに取り入れられるよう検討する。

委員 休日の地域クラブについて、各世代が隔たりなく参加できるようなクラブを想像するのだが、ここでの地域クラブについて伺いたい。

事務局 柏崎市では、令和8（2026）年度より、休日の部活動がなくなるため、その活動を担うクラブを地域クラブとしている。地域クラブは教育委員会で認定しており、スポーツ分野では現在7団体が認定地域クラブとして登録されている。

あくまで中学生のクラブである。

会長 休日の部活動がなくなるため、その代替りの受け皿として活動するクラブである。他自治体とは違ったやり方である。

地域クラブにならなかった競技は、民間のクラブとして活動を行っている。

委員の指摘の通り、クラブだけだと様々な形態の組織が混在する。

委員 活動は学校メインということでよろしいか。

事務局 そうである。中学生が対象である。

あくまでもこれまであった部活動に対して、休日の受け皿として活動するクラブを、柏崎市では認定地域クラブとしている。

委員 スポーツに限らず、指導者は重要な役割を担っている。優秀な指導者の育成・確保も必要である。市外の指導者確保にも努めるのか。また、発達段階にあわせてスポーツ活動に関する適切な指導を行える指導者をどう育成するのか。

会長 スポーツ協会では、指導者講習会を次年度も引き続き行うことで、指導者の育成に努める。また、各競技団体でも優秀な指導者を招へいして指導者の資質向上に努めている。

市外からの指導者確保については、兼職兼業で教職員が市外から柏崎市で勤められる中で、指導を行う可能性もある。逆の可能性もある。

委員 指導者の育成について、指導者講習会だけでなく、他にも育成のため、指導者同士のディスカッションなどの勉強会も必要ではない

か。

優秀な指導者とは、大会等で実績を残すだけでなく、健全な育ちと感性を育てることも指導者として重要である。

スポーツを通じて培ったことを将来に役立てるような指導をお願いしたい。

会長 指導者講習会等でも人格形成等の内容も取り入れている。

委員 幼児期、小学生ではスポーツをするにもお金がかかってしまう。民間スポーツクラブで活動する場合にも補助は出来ないか。保護者にとっても経済的負担は大きい。

会長 民間クラブに参加している方に対しての補助は現在ない。

部活動の地域展開では、これまでのスポーツ文化を変えることである。これまでは学校体育を基盤としてきて、スポーツにお金をかけるとい文化ではなかった。しかし、そろばんや習字などの教室に通うことに対してはお金をかけてでも参加をしてきている。今回の地域展開ではこの文化を変えることであり、地域をお願いをするためにはお金もかかる。もちろん、急激な変化に戸惑いはある。そのため、民間クラブに対しての補助はないが、認定地域クラブに参加する場合は検討をしている。

事務局 認定地域クラブに対して、活動費に対して市としても国の補助を活用して支援を行うことを検討している。これまでも、試行期間の4年間については、柏崎市スポーツ協会を通じて、指導者の謝金に対して補助を行ってきた。令和8（2026）年度については、これまで受益者負担でクラブの運営をお願いしてきたこともあり、国の補助を活用しながら、受益者負担を基本としつつ、指導者への謝金に対して、予算の確定はまだであるが、一部補助を検討している。また、生活困窮世帯に対する支援については、就学援助を基本に保護者に対して、年会費、保険料の一部補助を検討している。

委員 プレゴールデンエイジ、ゴールデンエイジに対して、スポーツ券など配布することでスポーツクラブに参加しやすいよう支援は出来ないか。

経済的な負担からスポーツをあきらめる世帯もいるのではないか。

会長 サッカークラブで、保育園等で運動あそびを行っている事例もある。

プレゴールデンエイジでは、運動経験をさせてあげることが重要であり、その時期に経済負担から経験できないことは考慮しなければならない。

事務局 補足となるが、プレゴールデンエイジ、ゴールデンエイジでの運

動経験の重要性は市としても認識しており、これまで親子で運動あそび教室や保育園・幼稚園を対象とした運動あそび出前教室を実施してきた。参加費は無料であり、子どもたちに運動あそびを体験してもらうことはもちろんのことであるが、保護者や保育士にも運動あそびを知ってもらうことで、日ごろの遊びや保育の中で取り入れていってもらいたいと考えている。

お金をかけてではなく、普段の生活の中から運動を好きになってもらいたい。

会長 運動あそびの事業に関して、今後拡充はあるか。

事務局 運動あそび出前教室では、令和6（2024）年度は7園実施し、令和7（2025）年度は8園実施した。令和8（2026）年度も同様の園数を対象に実施を予定しており、まだ、未実施の園を優先的に行い、市内全園で実施できるように進めていきたい。親子の運動あそび教室では、令和7（2025）年度は4回実施しており、令和8（2026）年度も同じく4回を予定している。

委員 孫を初めてアイスリンクに連れて行ったが、見ず知らずの方から優しく教えていただき、柏崎のスポーツ環境が素晴らしいと感じた。

会長 事務局から説明のあった幼児期の取組について、ランドデザイン幼児期に実施している取組でよいか。

事務局 そのとおりである。

委員 指導者育成について、社会体育でのいじめ問題もある。社会体育の方々にも研修会・育成があって良いのではないか。

会長 今のようなトラブルに対して、クラブとしても経験の少なさからうまく解決に至らない部分もあるかもしれない。今後別途で会議を持つと聞いている。大変重要なことなので、ぜひ研修の場を検討してもらいたい。

## ② 令和8（2026）年度スポーツ振興課事業計画について（報告）

資料に基づき、事務局から説明。

委員 10月3日に予定しているスポーツフェスティバル2026について、陸上競技場が改修工事によって使用できないため、会場をどうするか検討したい。

会長 少年広場や一中体育館などに会場を変更しやれる範囲で行う必要がある。

委員 市民登山について、クマ問題があるが対策はなされているのか。

事務局 実施する前に、クマの目撃情報などの確認を行う。また、場合によってはクマよけの鈴など対策を講じる。また、ハチ対策も必要で

あり、同行する職員が殺虫剤など携行して対処する。

- 会長 山岳会も同行するのか。また、4月の登山は可能なのか。
- 事務局 山岳会も同行する。雪があっても登山している方がいるような場所だが、4月下旬のため登山は可能と考える。
- 委員 鯖石ロードレースと柏崎マラソンは日程が重なっているが、別の日には出来ないのか。日程を変えれば参加者数は増えるのではないのか。
- 事務局 当初、柏崎マラソンは11月に開催されていたが、天候不順等により日程を変更した。鯖石ロードレースの実行委員会とも協議した中で、10月が第5週までである場合は柏崎マラソンを第5週に開催し、第4週までの場合は鯖石ロードレースと同じ第4週に開催することとなった。それぞれの事情もあるため現在のやり方で実施をしている。
- 委員 今年度の11月にワンバウンドバレー大会を総合体育館で開催したが、停電により中止となった。非常用発電機等により対応は出来なかったのか。
- 事務局 総合体育館にも自家発電機があるが、事務室等で使う電気程度であり、アリーナの照明のような電気を多く使うものまでは対応できない。

### ③ その他

子どもたちのスポーツグラウンドデザインについて補足

- 会長 先ほどのグラウンドデザインについて、いくつか修正が出たが今後どうしていくか。
- 事務局 内部でもグラウンドデザインについて、様々な意見を頂いており、分かりやすい表現への修正が必要である。
- 今回意見を頂いた案で骨子は出来たが、4月に配布するためには見やすいデザインで作成する必要がある。この骨子をベースに、子ども目線の分かりやすいデザインに修正して示したいため、時間を頂きたい。
- 会長 承知した。

事務局より、第6次総合計画前期基本計画について、部活動地域展開について、令和8(2026)・令和9(2027)年度スポーツ推進審議委員の団体推薦について説明。

### (3) 閉会

副会長 あいさつ

本日はお疲れ様でした。

多くの貴重な意見、指導者の育成、社会体育でのいじめなど様々な意見が出た。引き続き、様々な問題が出てくると思うが、審議会で情報を共有していきたい。今期の審議会は終了となるが、引き続き、柏崎のスポーツのために力を貸してもらいたい。

本日はお疲れ様でした。

以上